

# NOKAIDAI NOW

## 第13回若年者ものづくり競技大会 電子回路組立て職種で見事銅賞を受賞した大阪府代表 松下 拓磨さん

2018年8月1日から石川県で開催された若年者ものづくり競技大会電子回路組立て職種に大阪府代表として参加した電子情報技術科2年の松下拓磨さんが見事銅賞を受賞しました。



### 若年者ものづくり競技大会とは

職業能力開発施設、工業高等学校等において、原則として、技能を習得中の企業等に就業していない20歳以下の若年者を対象に「若年者ものづくり競技大会」（以下「大会」という。）を開催し、これら若年者に目標を付与し、技能を向上させることにより若年者の就業促進を図り、併せて若年技能者の裾野の拡大を図るため毎年開催されています。

主催 厚生労働省及び中央職業能力開発協会

# 若年者ものづくり競技大会を経験して

「銅賞を獲得したことだけでなく、大きな舞台を踏む機会を増やすことの大切さに気付いたこともまたこの経験で得られたものです」。

応用課程への進学が決まり、夏休みを控えて周囲が少し浮足立つ校内で担当の先生のサポートを受けながらただ一人黙々と練習する日々。「練習に励むことで不安は少しずつ自信になっていきました。金賞を目標にしていました」。

8月1日、会場に足を踏み入れる。「前日準備の日でしたので、緊張はありませんでした」。8月2日、競技当日、全国から代表となり電子回路職種に参加する29名が集合した。



「前日と違って一気に緊張が高まりました。しかし、競技が始まり課題の内容を見ると、これはできるという感触がありました」。

「競技序盤、順調に課題を進めていたのですが、そのうちにどこかでうまくいっていないことに気づき、次第に混乱していきました」。初めての全国の舞台で独特の緊張感の中、どこがうまくいかないのか、どう対応すべきか答えが見つからないまま時間が過ぎてしまう。結果は銅賞。「金賞はとれませんでした、受賞したことは満足しています。ただ、できるという感触があったことを考えると少し残念に思います。また、銅賞を獲得したことだけでなく、大きな舞台を踏む機会を増やすことの大切さに気付いたこともまたこの経験で得られたものです」。